

中部地方整備局事業評価監視委員会（平成24年度第1回）

議 事 概 要

1. 日 時 平成24年7月30日（月）10:00～12:00
2. 場 所 ホテル名古屋ガーデンパレス 2階翼の間
3. 出席者
○事業評価監視委員
 林委員長、八嶋副委員長、大久保委員、大野委員、柄谷委員
 葛葉委員、樹神委員、雑賀委員、中野委員
○中部地方整備局
 足立局長、山根副局長、渡邊副局長、総務部長、企画部長、建政部長
 河川部長、道路部長、港湾空港部長、営繕部長、用地部長
4. 議事
 1) 中部地方整備局長挨拶
 2) 委員長・副委員長の選任
 3) 対象事業の審議等
 (再評価)
 一般国道23号知立バイパス
 一般国道23号岡崎バイパス
 一般国道23号蒲郡バイパス
 一般国道23号豊橋バイパス
 一般国道23号豊橋東バイパス
 天竜川ダム再編事業
 三峰川総合開発事業
5. 配布資料
 ・委員会開催資料（議事次第、配付資料一覧、委員出席者名簿、配席図）
 ・資料1 再評価に係る県知事等意見
 ・資料2 対応方針一覧表
 ・資料3 再評価に係る資料【道路関係】
 ・資料4 再評価に係る資料【河川関係】
 ・資料5 一般国道23号 名豊道路
 （知立バイパス、岡崎バイパス、蒲郡バイパス、
 豊橋バイパス、豊橋東バイパス）
 ・資料5-1 一般国道23号 知立バイパス説明資料
 ・資料5-2 一般国道23号 岡崎バイパス説明資料
 ・資料5-3 一般国道23号 蒲郡バイパス説明資料
 ・資料5-4 一般国道23号 豊橋バイパス説明資料
 ・資料5-5 一般国道23号 豊橋東バイパス説明資料
 ・資料6 天竜川ダム再編事業 説明資料
 ・資料7 三峰川総合開発事業 説明資料

6. 主な審議結果等

1) 再評価対応方針（原案）については以下のとおりとする。

【道路事業】

- 一般国道 23 号 知立バイパス説明資料 . . . 了承
- 一般国道 23 号 岡崎バイパス説明資料 . . . 了承
- 一般国道 23 号 蒲郡バイパス説明資料 . . . 了承
- 一般国道 23 号 豊橋バイパス説明資料 . . . 了承
- 一般国道 23 号 豊橋東バイパス説明資料 . . . 了承

【河川事業】

- 天竜川ダム再編事業 了承
- 三峰川総合開発事業 了承

2) 委員より出された意見・質問及びその回答

項目	意見・質問	回答及び対応方針
一般国道23号名豊道路 (知立バイパス) (岡崎バイパス) (蒲郡バイパス) (豊橋バイパス) (豊橋東バイパス)	全般的に大変優良な事業だという印象を受けるが、なぜ蒲郡バイパスだけ進捗が遅いのか。 一部の進捗が遅れることにより、全体の効果の発現が遅れると考えられる。 それに対してどのような努力をされているのか。	名豊道路は、総延長が72.7kmと非常に長いバイパス計画である為、知立、岡崎、豊橋、豊橋東から逐次整備を進めており、蒲郡バイパスが最後に事業化された。 平成25年度以降を目標に、名古屋方面から蒲郡インターまで、豊橋側から東三河インターまでを供用することにより、1号線への負担はかかるものの、全体のバイパス効果は順次発揮できる。
	災害時のネットワークとして機能するため、災害に耐え得る規格であるか。(強度が担保されているのか)	名豊道路全体で、震災対策にきちんと対応しており、東海・東南海地震等の災害で、十分機能されるネットワークである。
	地震への耐久性について、今の基準(構造・強度)は、以前の想定を基にした基準であるが、全国的に見直しをしているのか。	今の基準は、阪神大震災を反映した耐震基準であり、東日本大震災では被害が少なかった。今地震の大きさ等の検討をしているところであり、基準の変更が必要であれば、検討し補強が必要であれば行っていく。 津波に対しては、避難通路として盛土や橋などを造っていくことで、調整している。

	<p>この名豊道路は、進めて欲しい事業である。蒲郡バイパスの今後の計画はどうなるのか。</p> <p>岡崎バイパスの事前進捗が前回80%が、今回60%に下がっているのはなぜか。</p>	<p>蒲郡バイパスは、全線に対して用地調査、用地買収を着手していく。今後用地の進捗状況を見極めながら、工事に入っていく予定である。</p> <p>岡崎バイパスの進捗率は、全体事業費に対して投資した率であり、全体事業費が860億円から1040億円に上がったため、進捗率が下がった。</p>
	<p>6000万人の観光客は、施設ごとの入り込み客を積み上げた延べ人数か。この地域は、車オンリーで移動していることが想定され、蒲郡あたりの供用が早く進むことが、この地域の活性化に大きく貢献する。</p> <p>さらに、個々の施設の努力にもよるが、名古屋・三河地方だけではなく、静岡・三重・東京・大阪とマーケットが広がる可能性は高くなる。</p>	<p>6000万人は、各施設の入込み客数の総合計である。</p>

- 一般的意見)
- 資料のとりまとめ説明について
 - ・津波の遡上高は古い情報と新しい情報があり、情報が混在する中で事業評価をしなくてはいけないため、最先端の情報あるいは古い情報に基づいているといった資料のとりまとめ(説明)をお願いしたい。
 - 非常に強い地震や津波が来たときに、全体の中で、最低どこが残るかという優先順位が必要であり、ネットワーク全体の強靱性のチェックを行っていただきたい。
 - 地震等があった時のアクセシビリティについて検討していただきたい。製造業の工場が生き残れるか、出荷できるかが大事である。自動車産業が数ヶ月ストップすると、産業・経済全体が壊滅的な状態となる。

項 目	意見・質問	回答及び対応方針
天竜川ダム再編事業	<p>雨の降り方の予測が難しくなっているが、洪水調節機能を加えるという中で、昨今の全国的な豪雨の降り方等を考慮しているか。</p>	<p>今までの既往洪水実績から計画を立てており、最近雨の降り方が変わってきているという状況が取り沙汰されてはいますが、今のところは考慮されていない。</p> <p>今後雨の降り方や大きな変化が見られるのであれば、必要に応じて計画を変更していくことも考えている。</p>
	<p>堆砂対策について、下流の秋葉ダムとか、上下流のダム（下流のダムと上流支川のダムとの調節）の流入量の兼ね合いは、どのように検討されているのでしょうか。</p>	<p>基本的に出水時のみ土砂が出るため、秋葉ダムの水位を下げ、川のようにするという形で通過させることを考えている。</p> <p>上流に位置するダムに関しましても、土砂バイパスをやっており、流域一貫として、下流への土砂の連続性を確保しようという計画になっている。</p>
	<p>流域住民への説明責任と合意形成がどのように行われ、今後どのように企画されているのか。</p>	<p>現地で関係者に対する説明会を行っている。</p> <p>ダムから土砂が出てくることへの沿岸自治体からの期待は非常に大きいと考えている。</p> <p>下流の水産業を営んでいる方には、土砂が出てくることへの不安もあるため、きちんとして説明して、しっかりと合意形成を図っていきたいと考えている。</p>
	<p>資料6、2ページ左側下に記載がある、総貯水容量が32,685万m^3から34,300万m^3に容量配分を変えることの事業費ということか。</p>	<p>ダム自体が電源開発という民間企業のダムであるため、洪水調節へ容量配分を変更すると、発電量も減るため、そういった権利関係について、国が購入するという形になる。</p> <p>また、洪水調節をする場合に現在のゲートからの放流流量が若干足りないため放流施設を改造し、また、容量を確保するため貯水池の堆積土砂の掘削も必要となる。</p>

	<p>同じ治水効果を発現するために、この方式だと700～800億かかり、それ以外の代替案が1,300億ぐらいかかります。それで今の案がもっとも効果を発現するという事で、選択されたのでしょうか。</p>	<p>14ページ、案3はダム再編事業分790億円込みで約1,200億円である。案1・案2では、海岸土砂供給を運搬にすると、別途1,000億円かかるので、案3がこの代替案の中では妥当だと認識している。</p>
	<p>防災第一と思っているので、100億円の差があっても、こういう事業を進めたらいいと思うが、環境的にもっといいものがあるのではないか。</p>	<p>ダムがなければ、天竜川を流下していたはずの土砂分が、ダムで止まっており、今回の事業で下流まで流れるようになるため、環境に対しての効果も期待している。なお、事業の経済的便益としては、カウントしていない。 案1・案2で同様に海岸に土砂を供給すると、別途1,000億円ほどかかり、2,300億円となり、1,100億円程度の差として見る事が出来るかもしれない。便益としては、環境面から見ても、優れていると認識している。</p>
	<p>恒久堆砂対策の課題も分かってきたが、技術的に対応できそうか。</p>	<p>堆砂対策は、土砂を吸引し、出水期にバイパストンネルに流すことを検討している。土砂を吸入する幾つかの方法があるが、土砂の粘性の影響等で想定していた機能が発揮できない状況になっている。計画している土砂量を技術的にも、費用も含めて持続可能な形で満足させる技術開発をしなければならない。基本的には、技術的な裏付けはあるが、現場への適用という点において、解決しなければならない問題点があり、学識者などの助言を得ながら進めていく。</p>
	<p>資料6、5ページの費用対効果分析の残存価値について、残事業が全体事業を上回ることは、あり得ないのではないか。数値のチェックをお願いしたい。</p>	<p>確認いたします。 ※確認の結果、残存価値の修正について、委員長及び委員の了承のもと、資料を訂正した。</p>
<p>一般的意見) ○特になし</p>		

項 目	意見・質問	回答及び対応方針
三峰川 総合開発 事業	佐久間ダムの場合は、電源開発の管理ですが、こちらのダムは？	美和ダムは、国土交通省管理で、特定多目的ダムの第1号として発電とかんがい用水を目的とする。
	佐久間ダムと美和ダムでは、ダム所有者が違う点はあるが、佐久間ダムで発電量が減少し、その部分と言われたが、どういう意味か？	発電に使っている容量を、洪水調整容量とするため、水位を下げてもらうことになり、水位差が減ることから、発電量が減る。本来であれば発電できた分が減り、電源開発としては発電による収入が減るため、補償しなければならない。
	原因として佐久間ダムが出来たので、堆砂対策をするという部分があるが、佐久間ダムに現在堆砂していることの対応を国が行う必要があるのか。	今現在も電源開発が、佐久間ダムへ流入した土砂の処理事業を実施している。今後、佐久間ダムの堆砂は国土交通省、秋葉ダムの対応は電源開発がやるということで、各々応分の負担をする。
	平成17年に完成した排砂バイパスは、予定どおり効果を発揮しているのか。 分派堰の方が粗いのですか。	資料7・17ページに挙げている平成18年から平成20年の4洪水の実績は、フォローアップ委員会でご意見を頂いているが、効果は発揮されている。土砂バイパスを通った土砂量が約32万m ³ あり、土砂バイパストンネルの入口に分派堰、上流に貯砂堰があり、粒径の大きいものを残して、粒径が0.1mm以下の非常に細かいものを土砂バイパストンネルへ流し込んでいく。粗いものと細かいものトータルで約95万m ³ あり、これがダム湖へ入らなくて済んだため、非常に整備効果があったという評価をいただいている。 貯砂ダムの方で粗いものが捕捉され、分派堰には多少粗いものが捕捉されている。さらにもっと細かいものが、一部美和ダム湖へ入っていくことがある。

<p>最初の方は、材料としてはいい材料のようですね。</p>	<p>貯砂ダムに貯まったものは、骨材として使っている。</p>
<p>読み取りにくい書き方をしているが、代替案1・2・3を比べて、戸草ダムをやめると書いてあるのか。</p>	<p>整備計画の立案当時、案1・2・3で比較しており、最適な物として整備計画の目標流量達成のために、河道整備と美和ダム再開発と機能強化において対応は十分であると評価した。ただし、河道整備の目標は、基本方針まで達成することであるため、判りにくい書き方となっている。 対応方針で検討すると書いてあるのは、現段階の基本計画は廃止して、新事業として検討することもあるということ。</p>
<p>長期的、将来的には流量を減らすため、いくらでも出てくる可能性がある見通しか。</p>	<p>現段階の基本計画は廃止させていただいて、新事業として検討することもある。</p>
<p>美和ダムは平成18年から四つの洪水で、国土交通省が想定した全体170万m³の土砂がきて、バイパストンネルに期待した流量は、そのうち37万m³であったか。本当はもう少したくさん流れるべきところを流れなかったのか。効果現象は定量的にいかがなのでしょうか。</p>	<p>美和ダムの計画の土砂収支があり、土砂は、雨が降って洪水の時に流すことで考えている。洪水の規模によって、大きく32万m³が変わってくる。計画上はもう少し大きな値であるが、年によって変動する。それなりの効果として、排砂が行われており、環境調査として、魚や他生物等の関係、特に細かい粒径の濁水が影響しないかどうか、長期的に検討しながら、調査を行っている。フォローアップ委員会からは今のところ影響はないと評価を頂いている。バイパスの土砂量効果を含め、今後も継続的に把握しながら、効果の状況を見ていきたい。</p>

	<p>本来洪水時に自然と流れてくるものを、人間が仕分けしてしまっている。トンネルを抜けるものは、非常に細かい砂だけで、粗いものは、上流の方の分派堰とか貯砂ダムで捕捉される。</p> <p>下流側の環境に対して、影響評価は考慮された構造であるか。</p>	<p>検討課題はあるが、例えば粗い土砂を取ってダンプで下流へ運び、置土し、洪水によりフラッシュさせることなども、下流の漁協とも調整しながら検討していきたい。</p> <p>美和ダムは、0.1mm程度の細かい濁りの成分ですが、佐久間ダムに関しても濁りはでますが、海岸への養浜、砂の供給を念頭に置いており、砂分とかより粗いものを出したいこともあり、吸引工法を考えている。</p>
<p>一般的意見) ○特になし</p>		